



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
インターネットでも  
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

# 平和への思い新たに

## 原水爆禁止世界大会 2006年 in広島 に参加して

原水爆禁止世界大会in広島に参加した平潟町の藤田稜威雄さんが手記を寄せてくれました。

●8月6日に毎年開かれる広島平和記念式典、テレビ・新聞で知るのみでしたが、思いもよらぬ参加の打診。とまどいつつも茨城県代表団40人のうち一人として喜んで参加しました。

8月3日、バスで水戸から広島へ。おそらく私は、若い方のグループに入るだろうと思っていきましたが



## 都市計画 マスタープラン

「北茨城市都市計画マスタープラン」についての地域懇談会が市内3ヶ所で開かれました。市民の参加は全体で28名でした。

(写真は大会会場)

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462



若さあふれる茨城県からの参加者

「日本は60年間戦争が無くて平和だ、とというのは誤りです、

●カナダ代表の教育勅語を現代文にアレンジして賛美している野党国会議員も茨城出身、戦前の右翼、血盟団の井上日照も。茨城の血脈とは思いたくはないですが。

まさか60歳以上長老グループ4人のうちの一人とは。高齢化、戦争体験の風化が心配される昨今ですが、20〜40代の若さあふれるパワーには驚きとうれしさが。世界大会の会場も若いエネルギーがムンムン、若人の頼もしさと「私も遅れをとってはならぬ」の気持ち強くしました。

●平和記念式典で黙祷を捧げました。目が潤みました。どうして惨い原爆が日本に投下されたのでしょうか。ういえば現防衛庁長官も、



停戦しているだけです。イラク・レバノンほかの戦争状態を見ればわかるはず、日本には関係がないなどという発言は、戦争で苦しんでいる人々に対する差別です」

私の認識も「日本はまだ平和」でした。差別の認識はありませんでした。

か。軍部の暴走を止められぬ政府文民・国民、気がついたときは…。外交平和努力を無にする軍隊は恐ろしい。防衛庁を省に格上げしたらどうなるのでしょうか。恐ろしい。その

と被爆認定が難しい！皆さん助けてください！」なんとも悲痛な訴えでした。涙が出ました。日本の国は60年過ぎてまだまだ責任逃れ、国益とは何だ！

この差別意識がなければ、戦争を止められた、被爆することもなかったのでは。日本文化の源は、中国・朝鮮。同じ肌の黄色人種、どうして思い上がってしまったのでしょうか。

●8500人が集った世界大会が無ならぬよう、全世界・地域の平和が達成され、かつ日本の憲法改悪、教育基本法改悪などを阻止するため、これから

●広島地裁で被爆者原告団41人全員勝訴、という劇的なニュースが入りました原告団の登壇、歓声の渦でした。が、在ブラジル人被爆者代表から「日本にいない

は、思う・考えるだけでなく行動に移すことこそ肝要。との思いを新たにしたい。多数の皆さまがたからの援助をいただいていた加でした。ありがとうございました。

